

# 応急組立橋(トラス式)

応急組立橋は、地震や洪水などの災害により橋が壊れた場合、また緊急的に橋が必要となった場合に架設する仮橋です。

現地の状況にもよりますが、短期間に組立てができるので、緊急車両及び一般車両の交通路を確保するための重要な役割を担っています。

## ◎ 設営イメージ



橋台(橋の土台)があれば約2週間で架設することができます。  
また、橋長や幅員を調整することができます。



架設前



架設中



架設後

H23年度 台風12号災害対応 国道169号(奈良県吉野郡川上村迫)架設状況

## ◎ 機械の諸元

### 主要諸元

形式	形式 トラス式 床版 デッキパネル式
車両寸法	橋長 40m
	車道幅員 4.0m~8.0m (2.0m間隔)
	歩道幅員 1.5m
	スロープ長さ 10m
	手延機長 29.38m
	防備処理 溶融亜鉛メッキ
設計荷重	B活荷重

ここで記載している諸元は代表的な規格でその他の企画もあります。

## ◎ 組立の概要

